

2025年3月7日(金) 第49回例会

【ハイブリッド開催】例会場：なは市民活動支援センター & オンライン：ZOOM



会長の時間



沖縄首里 RC 会長 坂東 隆弘

Paul P.Harris ロータリーの創設者

今回は、やっとPのポール・ハリスです。

ロータリーの創始者であることは、勿論のところ、親睦と奉仕をシカゴから全世界に広めたと同時に、一人のロータリアンとして生き抜いた謙虚で愚直なまでの勤勉さ、そして人間愛にあふれた方で語り継がれたエピソードも数限りなくあるのですが、その中で今回は、「ロータリーの寛容」について、限られた時間お話ししたいと思います。

簡単に略歴を

ポール・ハリス 1868年4月19日生まれ ウィスコンシン州ラシーン。 Paul P. Harris
職業 弁護士 バーモント陸軍士官学校 成績も素行も優等生。1886年バーモント大学入学
退学処分。プリンストン大学並びにアイオワ州立大学デモン校法学部卒業。5年間、アメリカ国内、並びにイギリス、ベルギー、イタリアへ旅。1896年 シカゴに弁護士事務所を開設。



さて、ポール・ハリスは、クラブ創立当時から、「ロータリーの寛容」などという悟りを得てクラブを作ったわけではないのです。1935年にポール・ハリス夫妻が来日された時、ロータリー設立の理由を聞かれポールは、「さみしかったから」と答えたという有名な話が残っています。

いまから120年前の1905年に友人のシルベスタ・シールを含むたった4名で始めた集まりが、今や全世界に140万人の仲間をもつ組織に発展しました。その成長の歴史の中で、設立当時は、分裂、解散の危機がありその真っただ中で揉まれ、時には磨かれそんな中で得たその答え「ロータリーの寛容」でした。その経緯をおさらいしながら手短にお話しします。

会員も順調に増え、準風満帆にクラブが運営される中、そんなクラブに対して入会を拒否するドナルド・カーターの忠告によりクラブ定款を変更し、ポールは、1907年から、親睦団体であるクラブの中に奉仕の概念を入れようとなりました。これはクラブにとって大きな方針転換でした。3代目の会長として強力な宣伝拡大大委員長としてシェルドンを起用し奉仕を強力に進めようとしたが、これがかえって親睦派の反発をかい、その結果、当然のことながら、クラブ親睦が崩壊し、奉仕派との分裂の危機に、シェルドンは解任され、自薦でなった第4代会長のポールも辞任します。この間にも、サンフランシスコ、オークランド、シアトル、LA、NYとクラブはどんどん増えていきます。親睦と奉仕を両立させるために、チェスレー・ペリーは、連合組織体構想を1909年に発想し、1910年「全米RC連合会」を結成。これに、満場一致でポール・ハリスの初代会長となったことで、ロータリーに感謝し「ロータリーの寛容」に目覚めました。

まとめますと、ポール・ハリスの考え方は、「はじめに親睦ありき」その上に、高次の概念としての奉仕が出てきたのですから、奉仕が高次の概念である以上は、それが親睦と相容れない場合には、親睦を抑えて奉仕が生きるべきだ、と言う立場をとりました。そこでポール・ハリスは、ロータリーにおける親睦と奉仕とを上下の関係において捉えたことの誤りに気付いたのです。

即ち、親睦と奉仕とを等位の概念として捉えるべきでした。この両者は、ロータリーという社会制度において、表裏一体の関係にあります。

いずれを優位させてもいけない。ロータリーは、親睦と奉仕の調和の中に宿る、と彼は悟ったのです。

このことを論文に書いたのが「Rational Rotarianism」ですが、彼はこの論文の中で次のように

「神様の思し召しにより、一段と高いところに登ることを許され、ロータリーとは何かと問われれば、自分は鶴鱗することなく、寛容 (toleration) と答えるであろう」

彼は、ロータリーは、親睦と奉仕の調和の中に宿る、と説いたのです。即ち、「ロータリーとは寛容である。親睦も大切だが、奉仕も大切。奉仕も大切だが、親睦も大切。したがって、ロータリアンは寛容な心を持つことが大切である。自分の考え方を相手に押しつけてはならない。ロータリーは、このような思考の世界の中にある。」これが、ポール・ハリスのロータリー論でした。

このようにして、ロータリーが、その思考の体系として、その外延(外堀)を確立したのは、1910年にポール・ハリスが「ロータリーは寛容の中に宿る」と自覚した時です。

したがって、1910年までは、無反省的な、無意識的な原理の開発に過ぎなかったわけです。

ロータリー寛容論を自覚したときに、ロータリーの意識的な体系的思考の外延(外堀)が完成するに至ったと言えるのです。

したがって、思想史的な視点から見ると、ロータリー思想の原点が据えられたのは、1905年ではなくて、1910年のことであり、それまでは、意識下の無反省的な試行錯誤の期間であったと言わなければならない訳です。

例会次第

開会点鐘	坂東 隆弘 会長
ロータリーソング「君が代」「OSRC の歌」	
誕生日祝い	クラブ管理運営委員会
ビジターゲスト紹介	司会
寄付者の認証	坂東 隆弘 会長
会長報告の時間	坂東 隆弘 会長
幹事報告	土田 光一 幹事
委員会報告等	各委員長
久高島支援その後	大類 隼人 クラブビジョン委員長
卓話 RYLA セミナー報告	RYLA 学友 喜納 美優 様
ニコニコボックスの紹介	土田 光一 幹事
閉会点鐘	坂東 隆弘 会長



例会の様子



ビジター・ゲスト紹介

来訪ロータリアン - makeup -

分区幹事 宜野湾 RC	平仲 絢子 様
宜野湾 RC	仲宗根 義次 様
宜野湾 RC	仲宗根 真由美 様
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	大城 英明 様
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	田澤 靖代 様
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	与那覇 依子 様
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	高良 仁浩 様
沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ	喜納 優子 様

お客様 - guest -

RYLA 学友 喜納 美優 様

(順不同)



活動報告

久高島緊急支援プロジェクト その後の報告

半年ほど前に「久高島緊急支援プロジェクト」として、大類単人会員が代表理事を務める「認定 NPO 法人 future code」と共に寄贈した多目的緊急搬送車両の運用状況の確認と、その他の問題のフォローアップのため、先月末、沖縄の離島、久高島を田中久光直前会長とともに訪問した、大類単人クラブビジョン委員長からの報告がありました。

寄贈から約半年間で、緊急搬送車両の出動回数は計 6 回。

主な出動理由としては、喘息発作や心不全などの緊急医療ケースが多く見られました。

注目すべき事例として、最近発生した骨盤骨折の患者さんの搬送があります。この事例では、搬送車両によって患者さんの体幹をしっかりと固定し、安全かつスムーズに搬送することができました。さらに、患者さんはそのままドクターヘリに引き継がれ、迅速に医療機関へ搬送され「命の輪」をつなぐことができました。



島民の皆様からは、「緊急搬送車両が島にあることで大きな安心感を得ている」という声をいただいています。離島という地理的条件の中で、緊急時の備えがあることの重要性和、その安心感は計り知れないものがあります。緊急車両が出動しない状況が最も平和な状態ではありますが、いざという時に適切に活用され、島民の命を守る役割を果たしていることを大変嬉しく思います。

その他にも、久高島に限らず、離島であるが故の出産などの問題もあり、今後も引き続き、現地のニーズや課題を丁寧に把握し、一つ一つの問題に可能な限り解決に向けて尽力していききたいと思います。

卓話



『RYLAセミナー報告』

RYLA 学友 喜納 美優 様

今回の卓話は、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）受講生の喜納美優さんに、RYLA セミナー報告を行っていただきました。美優さんは、三線の演奏家であり、オリジナル楽曲の制作にも携わるアーティストです。

今回の RYLA は沖縄での 3 泊 4 日の研修で、参加者はロータリー活動について学びながら、様々な体験を通して自己成長を目指しました。

初日は、沖縄戦について学ぶために「ひめゆり平和祈念資料館」を訪れました。現地では戦争の歴史に触れ、それぞれが心に響いた展示や、さらに深く考察したいテーマについて、思い思いの場所で思索する時間をもちました。研修中は、さまざまなグループワークが行われました。中でも、オープンウィンドウ 64 のワークショップでは、目標設定の重要性について学び、個々の夢を具体的に描く時間が設けられました。また、チームビルディングの一環として、スポーツやゲームを通じて参加者同士の絆を深めました。

2 日目以降は、沖縄戦や米軍基地問題に関する講義を受け、情報発信のあり方について議論しました。特に「チビチリガマ」と「シムクガマ」の話は印象的で、戦争中の集団自決と、その選択が生まれた背景について考える機会となりました。参加者はこれらの学びを通して、多角的な視点を持つことの重要性を再認識したようです。

3 日目には、「個人と社会のそれぞれが成長と発展しながら公正で持続可能な平和社会を実践することについて」をテーマにフォーラムが開催されました。研修を通じて、参加者は自身の価値観を見直し、新たな視点を獲得することができました。

美優さんは、「音楽を通じて平和の輪を広げたい」という自身の目標を再確認し、フォーラム終了後のパーティで、三線の演奏を披露しました。

最終日は、大類単人会員の講演を通じて平和の大切さを学びました。セミナー後にロータリアンの活動動画を視聴した美優さんは、ロータリアンが大人になっても全力で仕事や奉仕活動に取り組んでいる姿に強く心を打たれたと語りました。

4 日間のプログラムを通じて、学友との絆が想像以上に深まり、かけがえのない時間を過ごすことができました。

報告会の最後には、ロータリークラブのメンバーから「この経験を今後の活動に活かしてほしい」との激励の言葉が贈られました。

短期間ながらも充実した研修を経て、参加者が深い学びを得たことが伝わってくる、素晴らしい報告でした。

今後も、RYLA を通じて、多くの若者が成長し、社会に貢献できる機会が増えることを期待したいと思います。

誕生日祝い ～3月生まれ～

保坂 アイヴァ 会員 (3月10日 生まれ)	大類 隼人 会員 (3月20日 生まれ)
高良 仁浩 会員 (3月14日 生まれ)	北村 哲弥 会員 (3月23日 生まれ)
大城 英明 会員 (3月16日 生まれ)	三井 翔 会員 (3月30日 生まれ)



お誕生日おめでとうございます!

幹事報告



土田 光一 幹事

- 理事会報告 (審議事項)

- 「ひめゆり」映画上映の件は次年度山代会長の事業にすることに決まりました。
- 2025-26年度の委員会名簿を早急にLINEに流します。
- 例会場の件は「なは市民活動センター」を主会場とすることになりました。会員・衛星クラブ会員のお弁当代は千円、ビジターフィーは二千円になります。

- 報告事項

- 2025年4月23日(水)～24日(木)地区大会が立川ステージガーデン並びにホテルエミシア東京立川にて開催されます。

主な活動・会議

- 2025年3月8日(土) 沖縄首里女性活躍ロータリー衛星クラブ3月事業
3月8日 国際女性デー OKINAWA「地域を支える一歩を一緒に！」
開場：17:30 開会：18:00
場所：沖縄県立美術館・博物館 2階ホール

ニコニコBOX報告 本日の投入額 ¥22,000 (9件)

- 宜野湾 RC 分区幹事 平仲 詢子 様

喜納美優さん RYLA セミナー報告お疲れ様でした。素晴らしい経験と仲間、友人を得られたことが伝わってきました。これからの活躍も応援しています。沖縄首里 RC の皆様、本日参加させて頂きありがとうございます。衛星クラブの皆様、明日のイベントの盛会を祈念いたします。

- 宜野湾 RC 仲宗根 義次 様

今日は例会にお邪魔させて頂きありがとうございました。新しい気づきがあり、勉強になりました。喜納さん卓話もありがとうございました。

- 宜野湾 RC 仲宗根 真由美 様

首里 RC の夜間例会に初参加させて頂きました。昼間とは異なる雰囲気でした。形も素晴らしいと感じました。有意義な時間をありがとうございました。

- 坂東隆弘 会長

RYLA の発表ありがとうございます。

- 土田 光一 幹事

ゆいかさん RYLA セミナーの発表をありがとうございます。

- 山代 寛 会長エレクト

東京での地区 GPM 勉強になりました。会長エレクトがんばります。

- 佐藤 光信 会員増強委員・職業奉仕委員

分裂気味の世界ですが、今一度世界平和の意味を考えています。

- 伊津 元博 ロータリー財団委員長

本日もおつかれさまでした。明日も楽しみにしています!

- 大城 裕美 クラブ管理運営(親睦交流行事)・OSRSC 議長エレクト

ライラに自社アナターが参加させて頂きありがとうございます。良い経験をさせて頂きました。本人参加できずすみません。

出席報告

参加者:30名 【うち会員:21名(リアル参加:18名, オンライン参加:3名) / 35名 [出席率:60%]】

次回例会のお知らせ

- 第50回 例会

開催予定日時: 2025年3月21日(金) 19:00～20:00
開催方式: オンライン(Zoom)

- 第51回 例会

開催予定日時: 2025年4月4日(金) 19:00～20:00
開催方式: ハイブリッド
会場: なは市民活動支援センター(なは市民協働プラザ内2階・3階)



沖縄首里 RC 事務局
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 2-21-1-201 IJU 株式会社社内
Email osrc-office@okinawashuri-rc.jp
Call 098-867-3300



District 2580

Rotary

Club of Okinawa Shuri

